

山の手 ICT だより



山の手小学校では、今年度も1人1台端末 Chromebook を活用し、ICT 教育を進めています。ICT だよりを通して逐次取組の状況についてお知らせします。本校の ICT 教育の状況について知っていただくとともに、ご理解とご協力をいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新しいかたちの学びの授業力向上推進事業

今年度、山の手小は小樽市の「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」の教員配置校となっています。3名の推進担当教諭が、3週に1週ほどの間隔で教室に入っています。

1・2年生は、国語や算数の操作への慣れを中心に内野教諭が授業に参加しています。また、3・4年生の国語は山本(宗)教諭が、3～6年生の算数は藪田教諭が、ICTの特性を生かした授業づくりを中心に授業に参加しています。

学びを深めるために、ICTを便利に使いこなせる子どもたちになるよう、授業改善に取り組んでいます。



挿絵の並び替えを通して文章の概要をつかむ3年生

CB ルーティン定着強化運動

1人1台端末 Chromebook を授業の中でももっと気軽に使うことができるよう、Chromebook ルーティンという習慣を子どもたちに根付かせようという取組をしています。朝、登校したら保管庫にしまっている Chromebook を机の横にかけ、帰りには保管庫にしまっておいて充電ケーブルをさす、という習慣です。

ちょっとした授業のすき間時間にも Chromebook や AI ドリルを活用できるようにしています。



スキルアップキャンペーン『全校タイピング選手権』

ICT 活用の土台として、操作スキル向上を目指した取組を行っています。「全校タイピング選手権」もその一環です。本来ローマ字の学習は3年生の教育課程なのですが、「習うより慣れよ」の精神で、ローマ字指導以前の学年にもゲーム感覚で触れる、慣れるようにしています。成績とは全く関係ありませんが、「スクールタイピング」という Web アプリは、得点やメダルが表示されますので、それを励みに子どもたちに意欲付けを行っています。6月と12月の年に2回実施する予定です。

情報モラル教室

1学期末の保護者会では、4～6年生で情報モラル教室を設定しました。ネットに触れ合う機会がどんどん増えている昨今、操作スキルだけでなく情報モラルについて指導していくことも大変重要だと考えています。

道徳の授業やお昼の放送、また Chromebook を使用する時間など、折に触れ学校でも情報モラルの大切さについて伝えているところですが、学校外の講師をお招きし、より専門的な見地からも子どもたちに情報モラルについて学んでもらう、お家の方にもその実態を知っていただくという目的で、ソフトバンク株式会社様や、小樽市教委 ICT 支援員派遣事業の協力を得て、実施することができました。

ぜひ、ご家庭でもスマホやゲーム等ネットとの適切な関わり方について話題にしていただく機会としていただけたらと思います。

なお、2学期末の保護者会では、1～3年生を対象に同様の情報モラル教室を開催する予定です。



昨年度の情報モラル教室の様子